

高田 本山 だ よ り

昔ながらの生活を体験するのは大変ですが、
そこにお念仏があつたことに気がつき今に活
かすのはそんなに難しいことはありません



新宗務総長就任

ご存知かもしれませんが、高田本山の宗務総長は選挙で選ばれます。七月五日に総長選挙があり、宗務総長が新たに選ばれました。

増田修誠新宗務総長

は北海道の出身ですが、地元である上富良野町が津市と友好都市提携をしていることもあり、本山のある三重とのご縁も深い人物です。

総務には藤谷知良氏、真置和徳氏を迎え今後の本山の舵取りが期待されています。



写真右より

真置和徳総務(教学)

松阪市法性寺住職

増田修誠宗務総長

北海道専誠寺住職

藤谷知良総務(庶務)

鈴鹿市信福寺住職

●行事案内

九月二十日～二十六日

讃佛会

九月二十一日

佛教保育本山合同参拜

十月一日～三日

資堂講法会

十月十六日～十七日

坊守婦人会合同研修会

十月十八日

法話発表会

十月二十五日

第67回檀信徒研修会

十月三十一日

教学院研究発表大会

十一月三日～四日

納骨堂法会

十一月五日～十日

秋法会



WEB VERSION

WEB VERSION

こんな行事がありました



六月三日 第54回婦人連合大会

今年も盛大に婦人連合大会がひらかれ大谷派託縁寺の原田浩憲さんに講演いただきました。

また、女子祖師寿の表彰もおこなわれ今年は四百二十一名の方々の九十歳をお祝いいたしました。(写真右)

七月二十二日 ハスの日

国宝指定記念として開催されたハスの日イベント、境内での竹灯籠やマルシェ、そして御影堂では東儀秀樹演奏会がおこなわれました。演奏会には定員を超える応募があり、抽選にもれた方の中には雰囲気だけでもということで、竹灯籠ごしに境内で聴かれている方もあり大変な賑わいとなりました。(写真上)



七月三十日・三十一日

歴史まるごと体験塾

高田本山を主会場に第十六回をむかえる歴史まるごと体験塾が小学校五・六年生を対象に開催されました。昔の暮らしを体験するということでエアコンのない食堂での宿泊体験は例年がない酷暑のためエアコンのある部屋での宿泊に変更されましたが、朝のお参りや寺内町散策などは、暑い中元気に活動していました。(写真左)



WEB VERSION

WEB VERSION



8/1-5 仏教文化講座（左から 1 日法主殿御親講・2 日川添先生・3 日奈良先生・4 日池内先生・5 日栗原先生）

七月三十一日

布教伝道研修講座

一樂真先生を迎えて教
学院が開催する講座で
す。僧侶向けの講座では
ありますが、聴講はどな
たでもでき、お話を聴か
せていただく良いご縁に
なっています。（写真下）

八月一日～五日

第 92 回 仏教文化講座

はや九十二回を数える
夏の講座です。多彩な先
生を迎えて、いろいろな
角度から仏教について学
ぶことができました。

初日は法主殿の御親講
で、法燈国師（覚心）を
とりあげて、親鸞聖人を
とりまく仏教世界を題材
にお話いただきました。
2 日目の川添泰信先生
には法然上人から親鸞聖
人そしてその門弟につな



がる念仏の世界のお話で
した。

3 日目の奈良修一先生
は現代を生きる仏教徒と
して自問自答の大切さと
いうお話でした。

4 日目は物理学者とい
う切り口から池内了先生
に宇宙からのちまでつ
ながる世界を見せていた
だきました。

最終日には当講座の主
幹をつとめる栗原廣海先
生には往生ということに
着目して生死感について
お話いただきました。

連日、百名あまりの参
加があり会場となった高
田会館ホールは聴講者の
熱気で一杯になっていま
した。

九月一日 声明公演

東京国立劇場にて高田
の声明がホールに響きわ
たります。

汗を流して清掃奉仕

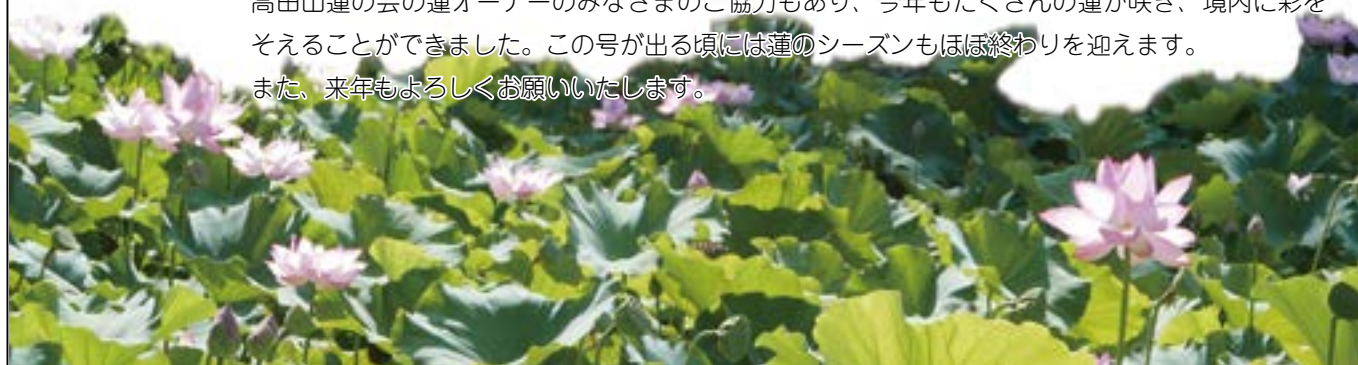
ご奉仕ありがとうございます。
ます。（敬称略・奉仕日順）

六月 ふれあい長寿会・
随宏寺・誓教寺・妙教寺・
啓運寺

七月 法林寺・久善寺・
法流寺・願正寺・實相寺・
長久寺・真楽寺・西源寺・
豊久寺

八月 酷暑の為休みです
本山のご奉仕で汗を流
しませんか。ひとりひと
りの力が合わさり山内が
護持されています。お檀
家さま・お同行さまだけ
ではなく一般の団体の方
にもご来山いただいてお
ります。お申し込み、お
問い合わせは宗務院庶務
部までお願いします。

高田山蓮の会の蓮オーナーのみなさまのご協力もあり、今年もたくさんの蓮が咲き、境内に彩を
そえることができました。この号が出る頃には蓮のシーズンもほぼ終わりを迎えます。
また、来年もよろしくお願いいたします。



念仏高田のふるさと

本寺専修寺

●高田まち●(顕智まち)

八月一日、本寺専修寺御影堂にて「顕智まち並びに西日本豪雨、東日本・熊本大震災物故者追悼法要」が東日本大震災の発生時刻に合わせ藤森邦夫輪番導師のもと厳修されました。



鈴木明信本寺前輪番、並びに花園親弘専修寺関東別院輪番出勤のもと、雅楽の荘厳な音色が鳴り響く中行われ、石坂真一真岡市長はじめ数多くの方々が見えになり御焼香頂きました。法要後は雅楽演奏会や尊徳太鼓などの催しが行われ境内は多くの方々と賑わいました。



●本寺を守ろう●

この度、専修寺関東別院が本山とともに、栃木組、茨城組、福島組の協力を得て本寺専修寺支援を開始しました。

栃木県、真岡市の文化的観光施設としての役割や地域起こしの一端となるよう、地元地域の観光関連事業者の方々との協力関係を築き相互に観光情報を発信する働きかけを行いながら、「雅楽」や「尊徳太鼓」など寺院、地域芸能活動を軸に文化面の興隆をはかり、地域

の人々とともに、幅広い年齢層に受け入れられる本寺を目指します。

真宗の根本道場である本寺専修寺を、宗派を超えた多くの人々に参詣される寺院にしていきたいので、お参りください。

●本寺専修寺輪番就任●

長年に渡り本寺専修寺の護持、興隆に尽力されてきました鈴木明信前輪番(正信寺前住職)の退任を受け、新たに藤森邦夫氏(報国寺住職)が本寺輪番に就任されました。

第四十八回お七夜献書展

課題

11月30日提出締切

詳しくは宗務院教学部までお尋ねください。

幼稚園

みち

小

小5 極楽国土

高校・一般

(イ)

小1

はす

小

小6 正像末法

(ア) 南西北四維

佛智の不思議をうたがいて

小2

九字

中

中1 願生安楽国

上下亦復然

善本徳本たのむ人

小3

西方

中

中2 奉請弥陀如来

彼土菩薩衆

辺地懈怠に生るれば

小4

安楽国

中

中3 宝林宝樹微妙音

往観無量覚

大慈大悲は得ざりけり



お七夜さんに書を献納
いたしました

「伝道の旅②」

釈尊シリーズ⑫

釈尊と千二百五十人の佛弟子たちは、一カ所に定住せず足の赴くままに伝道の旅を続けられました。

しかし、インドでは約三カ月もの間雨季が続きます。雨季の期間は遊行すると、草や虫などを踏み潰してしまう殺生の罪を作ってしまうのを避けるために、雨季の時だけは移動しない「雨安居」を行くようになり、そのための場所として布施されたのが精舎でした。

精舎とは、出家者のための舎宅で現在のお寺のもともになるものです。最初に雨安居が行われたのは、王舎城の頻婆娑羅王が寄進した竹林精舎でした。竹林精舎のほかには、『平家物語』の

「祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり」の有名な一節にある祇園精舎もありました。

そして、釈尊が『阿弥陀經』を説かれた場所が舎衛城にある祇園精舎なのです。

舎衛城には給孤独という長者がいました。給孤独はスダッタという名前なのですが、孤独で貧しい人に食事などを提供していたので給孤独長者と呼ばれていました。

ある時、給孤独長者が商用で出かけた王舎城で、たまたま釈尊のご説法を聞き感動し、ぜひ自分の住む舎衛城で釈尊を招き、孤独で貧しい人たちにも教えを聞ける精舎を建てたいと思い立ち、

祇陀王子が所有する樹林を譲り受けようと申し出たところ、広大な地面に金貨を敷き詰めたら譲ろうと難題を持ち掛けられました。早急地面に金貨を敷き始め私財をなげうって布施しました。その姿に心を打たれた祇陀王子が自分も協力したいと樹林を提供してくれたのです。

そのように建立された精舎は、祇陀王子の樹林と給孤独長者の園という二人の名を冠して祇樹給孤独園と名付けられ、略して祇園精舎と呼ばれるようになりました。

釈尊は、祇園精舎で苦悩する者とあらゆる者に苦悩を超える道を説かれました。

した。

私たちは、物事が思い通りにいかない時に苦しみや悩みの原因が自分の外にあるかのように思います。しかし釈尊は「こんなはずではない」と、とらわれる私に苦悩の原因があり、そのとらわれから離れることが苦悩を超える道であることを教えてくださっています。

釈尊の祇園精舎のご説法は、今日の私たちに今現在説法として日常生活の中で念佛申すところ、今、ここ、私に聞き開かれてくることでしょう。(教学院第三部会)



WEB VERSION

WEB VERSION

今年も日本各地で悲惨な事故や事件が続いております。それらすべてが人間の身勝手によるものです。

真宗教団ではこういった時代を背景に警鐘を促す「和訳正信偈」の言葉をもとに「ひかりといのち」として阿弥陀様のお心を説いております。

「ひかりといのちきわみなき阿弥陀ほとけを仰がなん」がまさに現在のテーマです。

阿弥陀様は限らないひかりといのちとなり、私たちに働きかけているとお示しになっております。

ひかりは灯明で智慧であり、いのちは供華で慈悲です。私たちは阿弥陀様よりの智慧と慈悲で生かされています。

ひかりという言葉は私が子どもの頃よりドラマのヒーローの名前を飾ってありました。小学生の頃に夢中になった「月光仮面」は月のひかりを浴びた使者で番組の終

わりには「憎まず、殺さず、ただしましよう」とテロップを流します。

また、今年放映五十三年を迎えた「ウルトラマン」は、主題歌にもあるようにひかりの国からやってきました。これも番組の終わ

リレー法話 「いのち」

ひかりといのち

東京組 正福寺住職 英法悦



に人間のエゴで生まれた怪獣を哀れむことをナレーションにより人類に警鐘を鳴らします。

どんなものでもひかりを持っておりま

す。そのひかりを見出すことが大事であります。

我々を気づかせていただきます。阿弥陀様の救いとは気づきへ導かれることであり、これによる投げかけに恵まれることでもあります。

ある書物によりますと人間ひとり二十代遡ると百万人の血が流れていると言われます。

自分一人の行動は、百万人の血がつながっての行動です。このようなことを考えますと、うかつな行動はできないはずで

相田みつをさんの詩「あのね自分にとって一番だいじなものは自分のいのちなんだよ。だから、他人のいのちはもつとだいじなんだよ」にもあるようにすべてのものをだいじに過ごしてもらいたいです。

御開山親鸞聖人が大事にされた「和」の心に加え、もう一つの「輪」をもつて生かされているいのちの重さをあらためて見つめ直したく願います。

合掌

WEB VERSION

WEB VERSION

親鸞聖人ご旧跡を訪ねて

第9回 越の国へ



高島市上開田・アカヤ池

アカヤ池で喉を潤したという話もあるのですが、残念ながら文献資料での確認はできませんでした。

愛発区山中には有乳山（あらちやま）医王院（いおういん）があったとされ、ここで休憩したとも、また近隣の炭焼き小屋で休息されたともいわれています。

親鸞聖人が法難（ほうなん）により流罪となり、配流先である越後へ向かったルートには諸説あります。近江路の部分では、琵琶湖上を移動され、琵琶湖北部の梅津港（うめづ）に上陸されたと言われるルートがあります。

そこから、愛発関（あらちのせき）を抜けて越前に入られたのです。愛発（あらち）に行くまでの道中にある弘法大師ゆかりの

この時「越路（えちろ）なるあちの山に行きつかれ、足もちしほに染まるばかりぞ」と詠じられたということです。ことで石碑に句が刻まれています。



また、こちらには休憩の際に聖人にさしあげた小豆の伝承も残っていて、近年まであずき茶屋として営業されていたそうです。

アカヤ池には高島市コミュニティバスで上開田草の根ハウス下車徒歩五分。愛発山中区へは国境下車徒歩二十五分程度（2キロメートル）です。

（山川蓮生）



愛発・山中区 左側が句碑

ご挨拶

教学総務 真置 和徳

はからずも教学総務の重責を担うことになりました。もとより浅学非才の身、皆さまのご支援を先づもってお願い申し上げる次第です。

ここ本山では両御堂の国宝指定により知名度も上り明るい兆しもみえてきましたが、宗門を取りまく環境は難問山積です。寺院崩壊という状況の中で宗教心の崩壊も私たちが足もとで感じられるようになりました。

高田の宗風は「念仏高田」の伝統であります。

行信具足のお念仏の中に阿弥陀如来さん、親鸞さまのお心が用いておられます。

後継者育成をはじめ一人でも多くの方がお念仏を喜ばれるご縁づくり、環境づくりに職員一同心をひとつにして努めて参りますので、尚、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。 合掌



三重県津市一身田町
2819
真宗高田派本山専修寺

寺院名